

2025 年 1 月

成田国際空港 脱炭素化方針

成田国際空港株式会社（NAA）は、環境への取り組みを経営の最重要課題と位置づけ、経営ビジョンに環境への配慮と地域との共生を掲げています。そして「周辺環境への取り組み」「資源循環への取り組み」「気候変動への取り組み」「環境マネジメント」の 4 つを柱として、環境負荷低減のための取り組みを進めてきました。

近年、社会全体で脱炭素化が求められており、航空業界においても、気候変動への対応は、持続的成長にとって必要不可欠です。特に、島国であるわが国においては、国際間の人や物の自由な移動はいわば存立基盤であり、脱炭素化への取り組みは NAA だけの課題に留まらず、わが国全体の利益にもつながるものです。

NAA は、CO2 排出量削減に関する中長期目標を定めた「サステナブル NRT2050」を 2021 年 3 月に発表しました。2050 年には NAA グループが排出する CO2 をネットゼロにし、成田空港から排出される CO2 を 2015 年度比で 50%削減します。

また、取り組みにあたっては、空港全体の排出量の多くを占めるステークホルダーとの強固な連携が欠かせません。成田空港では、有識者、関連自治体、空港関連事業者による「サステナブル NRT 推進協議会」を組織して、空港が一体となって取り組んでいます。さらに、国際空港評議会（Airports Council International）の空港カーボン認証制度（Airport Carbon Accreditation）を活用し、第三者による認証を得ながら取り組みを推進します。

NAA は、脱炭素化をはじめとした持続可能な社会の実現に貢献し、世界トップレベルの空港を目指します。

田村 明比古

成田国際空港株式会社

代表取締役社長

田村 明比古

